



ドル/円週別レポート

ドル円の概要

2024年5月初旬にドル円は円買い為替介入を実施した。160.20円で為替介入が実施され、一時的に152.02円付近まで下落。しかし、効果は限定的で介入規模は過去最大となったものの、一週間も介入効果は続かず反発。わずか1ヶ月で為替介入時の高値を上抜けてしまっている。

2022年は、為替介入をきっかけに円高ドル安相場の流れに形成が逆転し、2ヶ月間円高方向に傾いたことを考えると、ドル買い需要が著しく、流れを変えるのは相当難しいことが理解できる。

2024年7月1日の執筆時点では161.27円の高値を付けている。1986年ぶりの円安水準であり、どこが抵抗線となるのかも予測がしにくい状況となっている。

2024/07/01~2024/07/07の予測



2021年1月の102.63円を起点とするフィボナッチエクспанションを描画する。50%に該当する152.02円は2022年の為替介入水準であり、2023年11月にも意識されている。また、61.8%に該当する157.86円付近で急落が確認できる。これは2024年5月の為替水準である。

フィボナッチエクспанションを基に考えると、100%に該当するのは176.78円であり、上昇の余地がまだまだあることが理解できる。2024年後半は米大統領選挙があるため、予測は難しいが、円安リスクに今後も警戒が必要だ。

ドル円の日足分析



日足で直近の動きを、詳細に分析してみる。フィボナッチエクспанションを描画すると、161.8%に該当するのは163.57円付近となる。144%は一般的ではないが、161.42円も抵抗線として機能している。

ドル円の日足では52日移動平均線が強く意識されており、少なくとも過去に3回反応している。52日移動平均線を割るまでは円安継続と考えるのが良いだろう。

週間予想レンジ	158.89円～165.64円
主要抵抗線	167.59円 163.40円
主要支持線	160.20円 158.89円 158.40円



海外FX大学

Foreign FX University

本レポートは、投資判断の参考となる情報提供を目的としております。投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資方針や投資時期等の最終判断および決定は、お客様自身の責任で行ってください。本レポートは、あくまでも予想であり、その結果を保証するものではありません。本情報を元にした結果のいかなる損害についても当社は一切の責任を負いかねます。